

児童発達支援事業に係る自己評価(公表)

公表日: 令和8年1月20日

事業所名: 三条市子ども発達ルーム

回答数13/配布数13<回収率100%>

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|---------|----|--|----|-----|-----|--|
| 環境・体制整備 | 1 | 利用定員が発達支援室等のスペースとの関係で適切であるか。 | 13 | | | |
| | 2 | 利用定員やこどもの状態等に対して、職員の配置数は適切であるか。 | 13 | | | |
| | 3 | 生活空間は、こどもにわかりやすく構造化された環境になっているか。また、事業所の設備等は、特性に応じ、バリアフリー化や情報伝達等、環境上の配慮が適切になされているか。 | 13 | | | |
| | 4 | 生活空間は、清潔で、心地よく過ごせる環境になっているか。また、子ども達の活動に合わせた空間となっているか。 | 13 | | | ・利用者に応じたプログラムを提供しているため、カンファレンス等で協議しながら設定をしている。 ・支援後、使用の状況に応じて備品や玩具の消毒を行っている。 ・支援室の清掃、遊具、玩具の消毒を適宜行っている。 |
| | 5 | 必要に応じて、こどもが個別の部屋や場所を使用することが認められる環境になっているか。 | 13 | | | ・小集団支援であっても必要であれば個室を利用することも… ・言語課題の実施等、必要に応じて個別で行っている。 |
| 業務改善 | 6 | 業務改善を進めるためのPDCA サイクル(目標設定と振り返り)に、広く職員が参画しているか。 | 13 | | | |
| | 7 | 保護者向け評価表により、保護者等の意向等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 13 | | | ・保護者からの移行等については、その都度職員で話し合いできる範囲で改善をするよう心掛けている。 ・結果について集計し、保護者からのご意見や改善点等についてスタッフ全員で共有、検討している。 |
| | 8 | 職員の意見等を把握する機会を設けており、その内容を業務改善につなげているか。 | 13 | | | ・内部研修や個別支援会議棟で話し合い業務改善できるように心がけている。 |
| | 9 | 第三者による外部評価を行い、評価結果を業務改善につなげているか。 | 11 | 2 | | ・年一回民生委員の方へ事業所報告をし、意見を聞いて業務改善につなげている。 ・第三者による評価は行っていないが、外部からの意見があった際は取り入れるようにしている。 |
| | 10 | 職員の資質の向上を図るために、研修を受講する機会や法人内等で研修を開催する機会が確保されているか。 | 11 | 2 | | ・経費削減、ルーム開所に伴い予算が付かず。 ・長岡療育園の作業療法士より支援内容についてアドバイスをいただいている。 ・スキルアップのために、就業時間内で研修を受講する機会があれば積極的に参加したい。 |
| | 11 | 適切に支援プログラムが作成、公表されているか。 | 13 | | | ・HP掲載、前室に掲示している。 |
| | 12 | 個々のこどもに対してアセスメントを適切に行い、こどもと保護者のニーズや課題を客観的に分析した上で、児童発達支援計画を作成しているか。 | 13 | | | |
| | 13 | 児童発達支援計画を作成する際には、児童発達支援管理責任者だけでなく、こどもの支援に関わる職員が共通理解の下で、こどもの最善の利益を考慮した検討が行われているか。 | 13 | | | |
| | 14 | 児童発達支援計画が職員間に共有され、計画に沿った支援が行われているか。 | 13 | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|--------------|----|--|------|-----|-----|-----------------------------------|
| 適切な支援の提供 | 15 | こどもの適応行動の状況を、標準化されたツールを用いたフォーマルなアセスメントや、日々の行動観察なども含むインフォーマルなアセスメントを使用する等により確認しているか。 | 13 | | | |
| | 16 | 児童発達支援計画には、児童発達支援ガイドラインの「児童発達支援の提供すべき支援」の「本人支援」、「家族支援」、「移行支援」及び「地域支援・地域連携」のねらい及び支援内容も踏まえながら、こどもの支援に必要な項目が適切に設定され、その上で、具体的な支援内容が設定されているか。 | 13 | | | |
| | 17 | 活動プログラムの立案をチームで行っているか。 | 13 | | | |
| | 18 | 活動プログラムが固定化しないよう工夫しているか。 | 13 | | | ・子どもの発達段階に応じてプログラムを変更している。 |
| | 19 | こどもの状況に応じて、個別活動と集団活動を適宜組み合わせる児童発達支援計画を作成し、支援が行われているか。 | 13 | | | |
| | 20 | 支援開始前には職員間で必ず打合せを行い、その日行われる支援の内容や役割分担について確認し、チームで連携して支援を行っているか。 | 13 | | | ・言語個別指導は支援員が一人で入るため打ち合わせは実施していない。 |
| | 21 | 支援終了後には、職員間で必ず打合せを行い、その日行われた支援の振り返りを行い、気付いた点等を共有しているか。 | 13 | | | |
| | 22 | 日々の支援に関して記録をとることを徹底し、支援の検証・改善につなげているか。 | 13 | | | |
| | 23 | 定期的にモニタリングを行い、児童発達支援計画の見直しの必要性を判断し、適切な見直しを行っているか。 | 13 | | | |
| 関係機関や保護者との連携 | 24 | 障害児相談支援事業所のサービス担当者会議や関係機関との会議に、そのこどもの状況をよく理解した者が参画しているか。 | 13 | | | |
| | 25 | 地域の保健、医療（主治医や協力医療機関等）、障害福祉、保育、教育等の関係機関と連携して支援を行う体制を整えているか。 | 13 | | | |
| | 26 | 併行利用や移行に向けた支援を行うなど、インクルージョン推進の観点から支援を行っているか。また、その際、保育所や認定こども園、幼稚園、特別支援学校（幼稚部）等との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 12 | 1 | | |
| | 27 | 就学時の移行の際には、小学校や特別支援学校（小学部）との間で、支援内容等の情報共有と相互理解を図っているか。 | 13 | | | ・入学前後に各小学校と情報共有する機会を持てるよう周知している。 |
| | 28 | 地域の他の児童発達支援センターや障害児通所支援事業所等と連携を図り、地域全体の質の向上に資する取組等を行っているか。 | 該当なし | | | |
| | 29 | 質の向上を図るため、積極的に専門家や専門機関等から助言を受けたり、職員を外部研修に参加させているか。 | | | | |
| | 30 | （自立支援）協議会こども部会や地域の子ども・子育て会議等へ積極的に参加しているか。 | | | | |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|------------|----|--|----|-----|-----|--|
| | 31 | 地域の児童発達支援センターとの連携を図り、必要に応じてスーパーバイズや助言等を受ける機会を設けているか。 | 3 | 10 | | ・センターなし。 ・センターはないが、OT講師を招いて助言を受けている。 ・令和8年度に児童発達支援センター開設。 |
| | 32 | 保育所や認定こども園、幼稚園等との交流や、地域の中で他のこどもと活動する機会があるか。 | 6 | 6 | 1 | ・該当なし。 |
| | 33 | 日頃からこどもの状況を保護者と伝え合い、こどもの発達の状況や課題について共通理解を持っているか。 | 13 | | | |
| | 34 | 家族の対応力の向上を図る観点から、家族に対して家族支援プログラム(ペアレント・トレーニング等)や家族等の参加できる研修の機会や情報提供等を行っているか。 | 12 | 1 | | ・子育て支援講座を開催し、GWや情報交換の機会を設けている。 ・子育て支援講座を年一回実施している。 ・子育て支援講座があるが、参加者が少ないため、行っているといってもよいのか…と思い“いいえ”にした。 |
| 保護者への説明責任等 | 35 | 運営規程、支援プログラム、利用者負担等について丁寧な説明を行っているか。 | 13 | | | |
| | 36 | 児童発達支援計画を作成する際には、こどもや保護者の意思の尊重、こどもの最善の利益の優先考慮の観点を踏まえて、こどもや家族の意向を確認する機会を設けているか。 | 13 | | | |
| | 37 | 「児童発達支援計画」を示しながら支援内容の説明を行い、保護者から児童発達支援計画の同意を得ているか。 | 13 | | | |
| | 38 | 定期的に、家族等からの子育ての悩み等に対する相談に適切に応じ、面談や必要な助言と支援を行っているか。 | 13 | | | |
| | 39 | 父母の会の活動を支援することや、保護者会等を開催する等により、保護者同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。また、きょうだい同士で交流する機会を設ける等の支援をしているか。 | 10 | 3 | | ・子育て支援講座などで保護者交流の機会を設けている。きょうだい交流については各家庭で行えるようアドバイスをしている。 ・保護者支援講座を開催し、交流できるよう支援している。 ・保護者同士の交流機会は少ない。 ・子育て支援講座は行っているが、もっとフランクに参加できる交流会のようなものが増えると参加者が増えるのかとも思う。 |
| | 40 | こどもや保護者からの相談や申入れについて、対応の体制を整備するとともに、こどもや保護者に周知し、相談や申入れがあった場合に迅速かつ適切に対応しているか。 | 13 | | | |
| | 41 | 定期的に通信等を発行することや、HPやSNS等を活用することにより、活動概要や行事予定、連絡体制等の情報をこどもや保護者に対して発信しているか。 | 12 | 1 | | ・メール配信システムと前室掲示にて情報発信している。 ・前室に貼り出している。 ・情報について前室への掲示、メール配信を行っている。 ・個人情報もあるので難しい点があると思うが、HPを見て、もう少し詳しく活動内容などについて知れるとよいかと思う(写真などがあればなお良いか)。 |
| | 42 | 個人情報の取扱いに十分留意しているか。 | 13 | | | ・個人情報については施錠できる棚で保管している。 |
| | 43 | 特性のあるこどもや保護者との意思の疎通や情報伝達のための配慮をしているか。 | 13 | | | |
| | 44 | 事業所の行事に地域住民を招待する等、地域に開かれた事業運営を図っているか。 | 3 | 10 | | ・個人情報の取扱い等により、地域に対し運営は行っていない。 |

| | | チェック項目 | はい | いいえ | 無回答 | 工夫している点、課題や改善すべき点など |
|---------|----|---|----|-----|-----|--|
| 非常時等の対応 | 45 | 事故防止マニュアル、緊急時対応マニュアル、防犯マニュアル、感染症対応マニュアル等を策定し、職員や家族等に周知するとともに、発生を想定した訓練を実施しているか。 | 13 | | | |
| | 46 | 業務継続計画(BCP)を策定するとともに、非常災害の発生に備え、定期的に避難、救出その他必要な訓練を行っているか。 | 13 | | | |
| | 47 | 事前に、服薬や予防接種、てんかん発作等のこどもの状況を確認しているか。 | 13 | | | |
| | 48 | 食物アレルギーのある子どもについて、医師の指示書に基づく対応がされているか。 | 13 | | | ・食事の提供はしていないが、入試屢次にアレルギーの有無について聞き取り、確認している。 ・入室前の面談でアレルギーの有無について保護者に確認している。 |
| | 49 | 安全計画を作成し、安全管理に必要な研修や訓練、その他必要な措置を講じる等、安全管理が十分された中で支援が行われているか。 | 13 | | | |
| | 50 | こどもの安全確保に関して、家族等との連携が図られるよう、安全計画に基づく取組内容について、家族等へ周知しているか。 | 13 | | | |
| | 51 | ヒヤリハットを事業所内で共有し、再発防止に向けた方策について検討をしているか。 | 13 | | | |
| | 52 | 虐待を防止するため、職員の研修機会を確保する等、適切な対応をしているか。 | 13 | | | |
| | 53 | どのような場合にやむを得ず身体拘束を行うかについて、組織的に決定し、子どもや保護者に事前に十分に説明し了解を得た上で、児童発達支援計画に記載しているか。 | 13 | | | |

・この、「児童発達支援事業に係る自己評価結果(公表)」は事業所に従事している職員に「児童発達支援自己評価表」を用いて事業所の自己評価をしていただき、その結果を集計したものです。